



TITLE:

表紙ほか

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙ほか. 仏文研究 1980, 9

ISSUE DATE:

1980-05-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/137636>

RIGHT:



文 研 究 IX

1980

本城格教授定年退官記念号

- お別れに際して……………本 城 格(1)
- 本城先生……………中 川 久 定(3)
- 本城格先生略歴……………(6)

Des *Essais critiques* à *S/Z*

—lecture de Barthes— …Yasusuke Oura(9)

マラルメ研究 そのI

—《*Mes bouquins refermés sur le nom de Paphos*》の考察—

……………中 村 衣 子(46)

二重の場

—《*Le Spleen de Paris*》における常套句の機能—

……………吉 田 典 子(80)

京都大学フランス語学フランス文学研究室

編 集 後 記

「仏文研究」第9号を迎えるにあたり、本年4月1日をもって定年退官なされた本城先生の定年退官記念特集を企画致しました。本城先生には、学生の研究の御指導ばかりでなく、「仏文研究」創刊に際し御苦勞をおかけし、以来度重なる御助言、御援助をいただき、学生一同心からお礼申し上げますと同時に、先生の今後の御健康と御活躍をお祈り致します。また、退官に際し、先生には「仏文研究」に多額の御寄付をいただき重ねてお礼申し上げます。

本企画を進めるに際し、原稿執筆を快く引き受けていただいた、本城先生、中川先生にお礼申し上げます。

ところで、仏文研究室では以前1958年より研究誌「フランシア」が刊行されておりましたが、1967年11号にて先輩達により廃刊されました。1975年8月、私達大学院生の研究成果の発表の場として、私達が「仏文研究」を創刊し現在に至っております。本誌は私達大学院生が責任をもって編集し、大学院生の会費及び寄稿者(大学院生のみ)の多額の自己負担により運営されております。そのため財政が逼迫しております。今後とも、これまでと変わりなく読者の皆様の御援助をお願い申し上げます次第です。(編集委員一同)

論文執筆者

大浦 康介 博士課程1回生
中村 衣子 博士課程3回生
吉田 典子 博士課程1回生

編集者名

編集委員長

今井 雅彦 (D2)

編集委員

湊野 正満 (D3), 中村 衣子 (D3),
下堂園 真理 (D3), 吾妻 修 (D2),
多賀 茂 (M2), 露崎 俊和 (M2),
三谷 博也 (M2), 吉井 亮雄 (M2)

仏文研究 第9号

昭和55年5月20日 発行

発行者 京都大学フランス語学フランス文学研究室
代表 中川 久定
〒606 京都市左京区吉田本町1 京都大学文学部内

印刷所 昭和堂印刷所
京都市左京区百万遍交叉点上ル東側

非売品